

令和 8 年 度

愛知中部水道企業団水道事業会計

当 初 予 算 説 明 資 料

— 目 次 —

1 予算編成方針	1
2 予算の施策方針と主な事業の概要	2
3 事業計画	6
4 収益的収入及び支出	6
5 資本的収入及び支出	6
6 債務負担行為	6
7 企業債	6
8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表	7
9 第2次水道施設整備計画位置図	9

1 予算編成方針

現在、我が国経済は、長期にわたり続いた「デフレ・コストカット型経済」から脱却し、「成長型経済」への転換期を迎えています。景気は緩やかな回復基調にあるものの、賃金の伸びが物価上昇に追いつかず、個人消費の力強さを欠く状況が続いています。政府は令和7年12月に閣議決定した「令和8年度予算編成の基本方針」において、こうした認識を示すとともに、生活の安全保障や物価高への対応、危機管理投資・成長投資などを柱とした「強い経済」を実現する総合経済対策」を推進しています。

本企業団に目を向けますと、令和7年度に平均20.4%の水道料金改定を実施し、算定期間である令和12年度までの資金確保の見通しが立ちました。資材費や労務費などの上昇が続く中にあっても、建設工事に係る債務負担行為の活用や国庫補助金の追加要望など、限られた財源を最大限に活用しながら事業を着実に推進してきました。水道料金改定に際しては、施設管路の老朽化など山積する課題への対応に加え、さらなる経営努力と業務改善が求められており、お客様への丁寧な説明と透明性の確保がこれまで以上に重要となっています。

令和8年度からは、第2次水道施設整備計画の改訂を含む「第3次アクア・シンフォニー計画（改訂版）」がスタートします。基本理念である「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」の実現に向けて、物価上昇や県営水道料金の2段階目の値上げなど、変化する経営環境を的確に捉えながら、柔軟で持続可能な経営が求められます。そのうえで、経費節減や業務効率化を徹底し、将来にわたり安定的で持続可能な水道サービスを提供し続けることが、企業団に課せられた使命です。

令和8年度の予算編成にあたっては、職員一人ひとりが財政状況を十分に認識し、事業の成果と課題について検証しました。その結果を踏まえ、掲げた目標を確実に達成できるよう、事業の重要度・緊急度・実効性を総合的に判断し、限られた財源を最大限に活用するため、優先度の高い事業に重点的かつ効率的に予算を配分しました。

2 予算の施策方針と主な事業の概要

★★水道事業ビジョン★★ 第3次アクア・シンフォニー計画

(当初計画：令和3年度～令和12年度)

【改訂版：令和8年度～令和12年度】

基本理念「水源から蛇口まで、みんなに気持ちいい水道」



基本理念実現に向けた3つの基本計画

計画1 「安全」 安全できれいな水を届ける

I 安全な水供給の確保

(主な事業)

1. 安全な水道水を届けるため、水質検査計画に基づく検査を実施し、水質検査の正確性や分析技術の向上を図ります。

・適正な水質管理 … 2,177万円

(一部農薬項目等の水質検査業務委託他)

・水質検査精度管理 … 5,426万円

(ガスクロマトグラフ質量分析装置等の保守点検業務委託、水質検査機器更新他)

・水安全計画の検証

(水安全計画のレビュー)

2. 施設場内への侵入防止や異物混入防止対策のため、施設警備委託による常時監視を継続します。

・施設警備委託 … 216万円

(水道施設警備業務委託)

計画2 「強靱」 災害に強い水道づくり

I 第2次水道施設整備事業の推進

(主な事業)

1. 老朽管が多い地区や漏水が多発している管路を計画的に更新します。

- ・老朽管路の更新 … 19億9,683万円

(豊明市新栄町1丁目他地内配水管布設替工事 始め21件 L=13,996m)

2. 災害に備えるため、基幹管路や災害時に拠点となる重要給水施設へ至る管路の耐震化を行います。

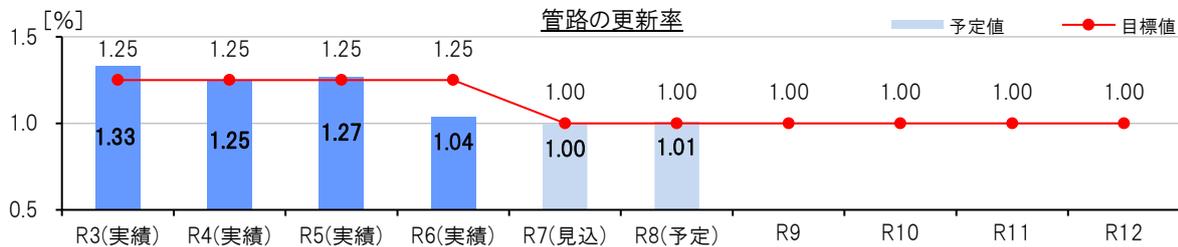
- ・耐震管路への更新 … 1億2,345万円

(鉛ヶ松高嶺線送水管布設替工事その1 L=471m、基幹管路耐震化に伴う設計委託1件)

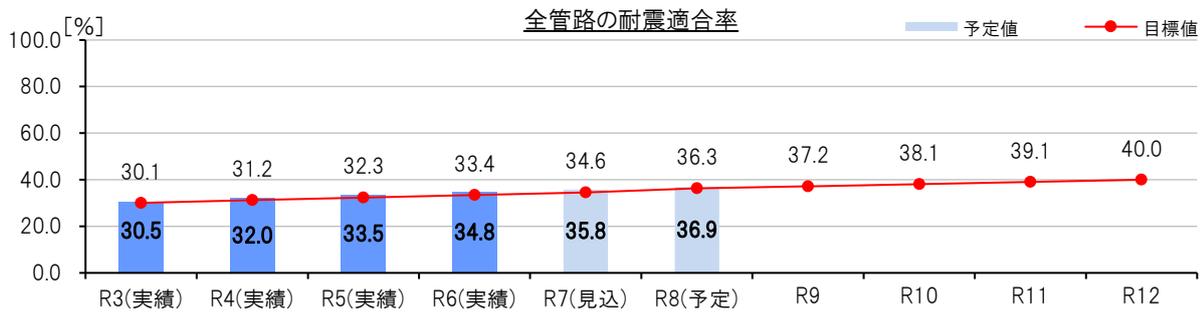
- ・重要給水施設管路の耐震化 … 4億6,381万円

(三ヶ峯日進北小線配水管布設替工事その2 始め6件 L=2,383m)

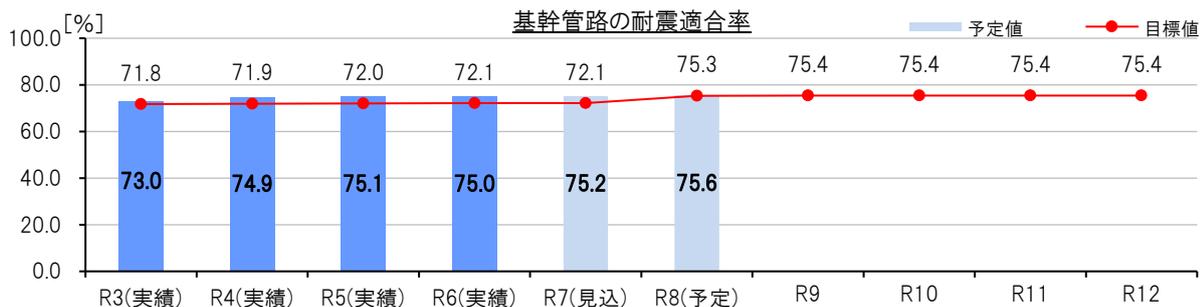
第2次水道施設整備計画(令和3年度～令和12年度)の主な指標



※管路の更新率は、水道施設整備事業だけでなく布設替を対象としている他の事業も含めて算出しています。
 ※R7の目標値は、水道料金改定による見直しの数値を反映しています。
 ※R8～R12の目標値は、改訂後の数値を反映しています。



※R8～R12の目標値は、改訂後の数値を反映しています。



※管路耐震適合率とは、比較的良好な地盤に布設されているダクタイル鋳鉄管(K形継手)を耐震適合性がある管として、耐震管と合わせて算出したものです。
 ※基幹管路とは、導水管(取水施設から浄水施設に至る管)、送水管(浄水施設から配水施設に至る管及び配水池間を結ぶ管)、φ400mm以上の配水管をいいます。
 ※R8～R12の目標値は、改訂後の数値を反映しています。

II 水道施設のレベルアップ

(主な事業)

1. 水道水を継続的に供給するため、水道施設を適切に維持管理し、老朽化した施設を計画的に更新します。
 - ・ 遠方監視システムの適正管理 …… 6,495万円
(計装監視設備更新工事、電気計装設備点検業務委託他)
2. 水道事故を未然に防止するため、管路を適切に維持管理します。
 - ・ 漏水調査 …… 6,379万円 (漏水調査業務委託他)
 - ・ 仕切弁などの点検 …… 952万円 (管路施設点検業務委託)
 - ・ 配水管の洗浄 …… 4,772万円 (水管橋塗装工事、ストレーナ設置工事他)
3. 区画整理事業や公共工事と同調し、効率的に配水管を更新します。
 - ・ 区画整理事業等に対する迅速な対応 …… 2億3,445万円
豊明間米南部土地区画整理内配水管布設工事その1 始め3件
 - ・ 公共工事と同調した配水管整備 …… 9,684万円
日進市本郷町西原他地内配水管布設替工事その2 始め5件

III 危機管理対策の推進

(主な事業)

1. 災害時における円滑な応急給水活動・復旧活動に備えるため、災害用資機材を計画的に整備します。
 - ・ 災害用資機材の確保 …… 863万円
(公用スマートフォン、災害時燃料の貯蔵タンク使用料、簡易型仮設給水槽他)

計画3 「持続」 いつも信頼できる水道システム

I 水道水の安定供給

(主な事業)

1. 安全で良質な水を安定的に確保するため、愛知県営水道からの受水を合理的かつ効率的に行います。
また、老朽化や水質状況を考慮し、自己水源の適切な維持管理を行います。
 - ・ 愛知県営水道からの受水 …… 26億4,218万円
(承認基本給水量 102,500m³/日、年間予定受水量 34,468,000m³)
 - ・ 自己水源の合理化 …… 1,045万円
(東名水源取水ポンプ修繕工事他)

II お客様との連携の促進

(主な事業)

1. 多様化するお客様のニーズや利便性に対応するため、サービスのさらなる向上を図ります。
 - ・ 配水補助管助成金制度の継続 …… 2,052万円 (配水補助管助成金)
2. 将来を担う子どもたちを対象に、水の大切さや水道の役割について理解と関心を高めてもらうため、水道学習を継続して行います。
 - ・ 水道学習の実施 …… 133万円 (小学生を対象とした水道学習用パンフレット、動画制作)
3. ホームページや広報誌等を通じて、水道事業に関する情報を分かりやすく提供します。
 - ・ 水道事業の情報発信 …… 469万円
(広報誌「ふれっしゅ水道」(年間2回発行、予定部数290,000部)作成委託他)

III 持続可能な水環境づくり

(主な事業)

1. 環境保全の責務を果たすため、さらなる環境負荷の削減に向けた取り組みを継続します。
 - ・ 太陽光発電設備、電気自動車の活用 …… 23万円 (太陽光発電設備の年次点検業務委託)
2. 水道水源環境保全基金を活用し、「水源の森」森林整備協定造林事業による水源地の環境整備を行うとともに、ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備を継続します。
 - ・ 「水源の森」森林整備協定造林事業 …… 3,989万円
 - ・ 水源地域との交流事業 …… 97万円
 - 〔 ボランティア組織「水源の森応援隊」による森林整備活動の実施、
水源地環境整備促進事業助成金他 〕

IV 健全かつ安定した事業運営

(主な事業)

1. 自己財源の負担軽減を図るため、各種補助金制度を活用して財源の確保に努めます。
 - ・ 補助金制度の活用 …… 5,953万円 (防災・安全交付金)
2. 事業実施に必要な財源を確保し健全経営を継続するため、企業債の適正な借入に努めます。
 - ・ 企業債の適正借入 …… 5億9,000万円 (利率が6.0%以内の公的資金を借入れ)

V 人材育成・組織力の強化

(主な事業)

1. 職員の人材育成・能力開発を図るため、研修内容を改善し充実させます。
 - ・ 職員教育の充実 …… 311万円 (内部・外部研修の実施)

3 事業計画

(1) 業務の予定量

区 分	単位	令和8年度 予定 A	令和7年度		増減 C (A-B)	増減率(%) (C/B)
			当初予定 B	見 込		
給 水 戸 数	戸	144,500	142,600	144,000	1,900	1.3%
給 水 人 口	人	328,770	328,360	328,500	410	0.1%
総 給 水 量	千m ³	34,707	34,482	34,730	225	0.7%
(うち県営水道受水量)	千m ³	34,468	34,027	34,275	441	1.3%
有 収 水 量	千m ³	32,868	32,655	32,889	213	0.7%
有 収 率	%	94.7	94.7	94.7	0.0	0.0%
1 日 平 均 給 水 量	m ³	95,088	94,471	95,151	617	0.7%
1 人 1 日 平 均 給 水 量	リットル	289.2	287.7	289.7	1.5	0.5%
1 人 1 日 平 均 有 収 水 量	リットル	273.9	272.5	274.3	1.4	0.5%
職 員 数	人	100	98	97	2	2.0%

(2) 建設改良事業の概要

科 目	予算額	主な事業
配 水 設 備 改 良 費	3,943,691千円	第2次水道施設整備事業 土地区画整理等受託事業
固 定 資 産 購 入 費	221,387千円	ガスクロマトグラフ質量分析装置更新他

4 収益的収入及び支出

水道事業収益9,040,290千円に対して、水道事業費用は7,277,243千円で差引き1,763,047千円が税込み当年度純利益となります。なお、消費税及び地方消費税を整理すると1,507,573千円の税抜き当年度純利益となります。

5 資本的収入及び支出

資本的収入1,243,382千円に対して、資本的支出は4,328,052千円となり、差引き不足額3,084,670千円は、減債積立金3,000千円、建設改良積立金44,162千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額250,012千円、過年度分損益勘定留保資金1,126,159千円、当年度分損益勘定留保資金1,661,337千円で補てんする予定です。

6 債務負担行為

事 項		期 間	限度額
老 朽 管 路 更 新 工 事	豊明市、日進市、長久手市、東郷町地内	令和9年度	347,732千円
	豊明市、日進市、みよし市、長久手市地内	令和9年度 から 令和10年度 まで	1,836,406千円
配 水 区 再 編 工 事	みよし市地内	令和9年度	78,716千円
漏 水 調 査 業 務 委 託		令和9年度 から 令和11年度 まで	2,860千円
水 道 施 設 維 持 管 理 業 務 委 託		令和9年度 から 令和13年度 まで	385,957千円

7 企業債

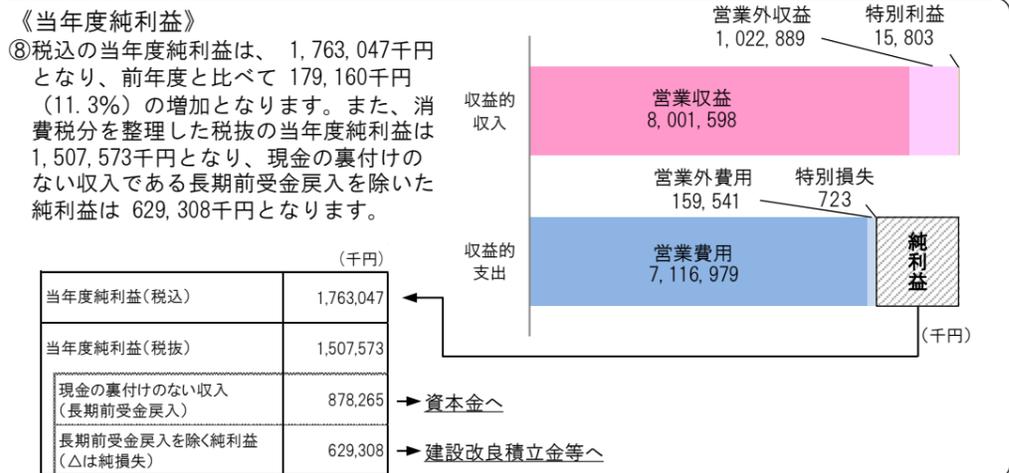
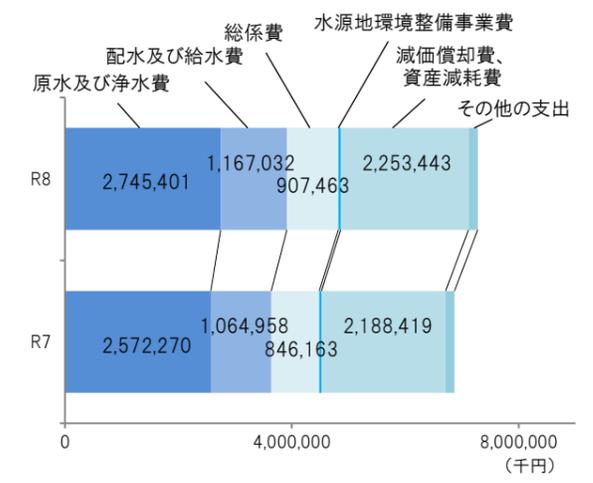
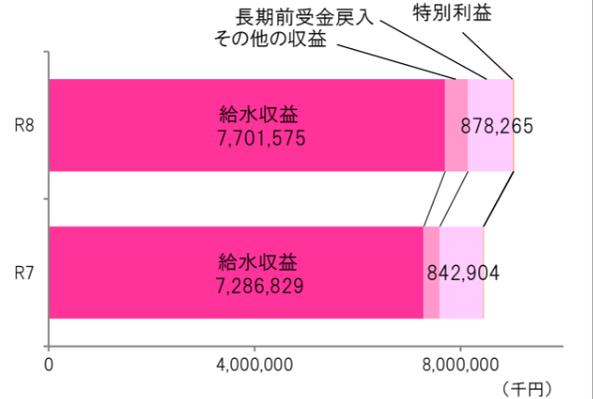
配水設備改良事業の財源として、限度額を590,000千円と定め、利率が6.0%以内の公的資金を借り入れる予定です。

8 愛知中部水道企業団水道事業会計 予算実施計画比較表

(1) 収益的収支 ※収益的収支（損益勘定）とは、1年間で水道水を供給して得る収入と供給に要する費用（支出）の内訳を表すものです。〔予算書P6～P7〕

(単位:千円)

収入科目	令和8年度 予定額	令和7年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	主な概要
営業収益	8,001,598	7,554,632	446,966	5.9%		<p>《収益的収入》</p> <p>①営業収益のうち給水収益は、供給単価の増加により、前年度と比べて414,746千円(5.7%)の増加となります。</p> <p>②営業外収益のうち長期前受金戻入は、長期前受金を財源として取得した構築物の除却の増加により、前年度と比べて35,361千円(4.2%)の増加となります。</p> <p>③特別利益のうちその他特別利益は、退職給付引当金戻入益の増加により、前年度と比べて5,743千円(57.1%)の増加となります。</p>
給水収益	7,701,575	7,286,829	414,746	5.7%	水道料金収入(みよし市水道基本料金免除適用)	
受託工事収益	0	803	△803	皆減		
その他営業収益	241,761	238,546	3,215	1.3%	給水工事に伴う設計事務費、下水道徴収事務負担金他	
他会計負担金	58,262	28,454	29,808	104.8%	消火栓等維持管理負担金他	
営業外収益	1,022,889	886,514	136,375	15.4%		
受取利息	3,241	3,241	0	0.0%	有価証券利息他	
他会計補助金	91,064	0	91,064	皆増	みよしの水道基本料金免除に伴う補助金	
長期前受金戻入	878,265	842,904	35,361	4.2%	減価償却費等に対応する長期前受金の収益化	
雑収益	50,319	40,369	9,950	24.6%	行政財産目的外使用料他	
特別利益	15,803	10,060	5,743	57.1%		
その他特別利益	15,803	10,060	5,743	57.1%	退職給付引当金戻入益	
水道事業収益計(A)	9,040,290	8,451,206	589,084	7.0%		
支出科目	令和8年度 予定額	令和7年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考	
営業費用	7,116,979	6,714,403	402,576	6.0%		<p>《収益的支出》</p> <p>④原水及び浄水費は、受水費の増加等により、前年度と比べて173,131千円(6.7%)の増加となります。</p> <p>⑤配水及び給水費は、鉛ヶ松受水場内外面補修工事に伴う修繕費の増加等により、前年度と比べて102,074千円(9.6%)の増加となります。</p> <p>⑥総係費は、営業業務委託に伴う委託料の増加等により、前年度と比べて61,300千円(7.2%)の増加となります。</p> <p>⑦資産減耗費は、水道施設撤去工事に伴う除却費の増加により、前年度と比べて43,868千円(62.7%)の増加となります。</p>
原水及び浄水費	2,745,401	2,572,270	173,131	6.7%	県営水道受水費他	
配水及び給水費	1,167,032	1,064,958	102,074	9.6%	配水施設等維持修繕費他	
受託工事費	0	803	△803	皆減		
総係費	907,463	846,163	61,300	7.2%	検針・収納等営業業務委託料他	
議会及び監査費	2,778	2,971	△193	△6.5%		
水源地環境整備事業費	40,862	38,819	2,043	5.3%	水源地環境整備事業助成金他	
減価償却費	2,139,660	2,118,504	21,156	1.0%	有形固定資産構築物他	
資産減耗費	113,783	69,915	43,868	62.7%	用途廃止資産の除却費及び施設撤去費他	
営業外費用	159,541	152,891	6,650	4.3%		
支払利息及び企業債取扱諸費	50,520	44,015	6,505	14.8%		
雑支出	5,080	5,080	0	0.0%	過年度分水道料金減免他	
消費税及び地方消費税	103,941	103,796	145	0.1%		
特別損失	723	25	698	2,792.0%		
過年度損益修正損	723	25	698	2,792.0%	貸倒損失(一般債権分)	
水道事業費用計(B)	7,277,243	6,867,319	409,924	6.0%		
当年度純利益(A-B)	1,763,047	1,583,887	179,160	11.3%		



(2) 資本的収支

※資本的収支（資本勘定）とは、将来にわたって水道水を安定供給するための水道管の新規布設や布設替等に係る経費（支出）と、その財源（収入）の内訳を表すものです。 [予算書P8～P9]

(単位:千円)

収入科目	令和8年度 予定額	令和7年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
企業債	590,000	280,000	310,000	110.7%	配水設備改良事業の財源として借入れ
国庫補助金	59,530	49,170	10,360	21.1%	水道総合地震対策事業に対する国庫補助金
工事負担金	593,773	791,318	△ 197,545	△ 25.0%	土地区画整理等受託事業に伴う負担金他
固定資産売却代金	79	0	79	皆増	公用車処分に伴う帳簿原価
資本的収入計 (C)	1,243,382	1,120,488	122,894	11.0%	
支出科目	令和8年度 予定額	令和7年度 予定額	増減(△減)	増減率(%)	備考
建設改良費	4,165,078	4,179,313	△ 14,235	△ 0.3%	
配水設備改良費	3,943,691	3,946,733	△ 3,042	△ 0.1%	水道施設整備事業、土地区画整理等受託事業他
固定資産購入費	221,387	232,580	△ 11,193	△ 4.8%	ガスクロマトグラフ質量分析装置更新他
企業債償還金	160,192	174,271	△ 14,079	△ 8.1%	
補助金返還金	2,782	3,114	△ 332	△ 10.7%	国庫補助金に含まれる消費税相当額の返還分 (令和6年度、令和7年度)
資本的支出計 (D)	4,328,052	4,356,698	△ 28,646	△ 0.7%	
差引額 (C-D)	△ 3,084,670	△ 3,236,210	△ 151,540	△ 4.7%	△の場合は収入が不足

補てん財源計	
過年度分損益勘定留保資金	1,126,159
当年度分損益勘定留保資金	1,661,337
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	250,012
減債積立金	3,000
建設改良積立金	44,162

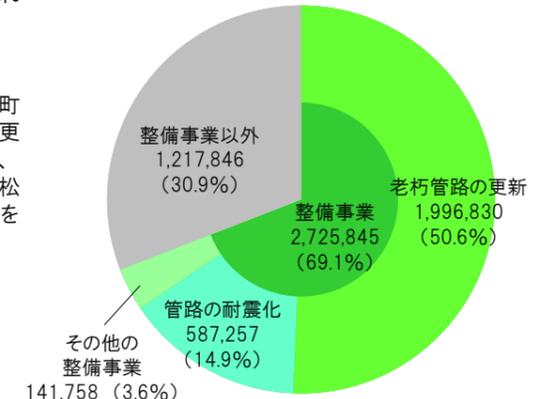
※令和8年度資金繰越額 (単位:千円)

収益的収支	収益的収入 (A)	9,040,290
	収益的支出 (B)	7,277,243
	うち現金を伴わない支出 (減価償却費、資産減耗費等)	2,248,265
	純利益 (A-B)	1,763,047
	うち長期前受金戻入を除いた利益	629,308
資本的収支	資本的収入 (C)	1,243,382
	資本的支出 (D)	4,328,052
	収支不足額 (C-D)	△ 3,084,670
前年度資金繰越額 ①	1,803,673	
当年度資金発生額 ②	3,127,585	
当年度純利益 (△は純損失)	629,308	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	250,012	
当年度分損益勘定留保資金	2,248,265	
財源充当額 ③	3,084,670	
翌年度資金繰越額 (① + ② - ③)	1,846,588	

《資本的収入》
⑨配水設備改良事業の財源として、限度額を590,000千円と定め、企業債の借入れを行います。

《資本的支出》
⑩水道施設整備事業として、豊明市新栄町1丁目他地内を始めとした老朽管路の更新事業を1,996,830千円(13,996m)、管路の耐震適合率の向上のため、鉛ヶ松高嶺線を始めとした管路の耐震化事業を587,257千円(2,854m)を行います。その他に、電気計装設備の更新等を141,758千円行います。

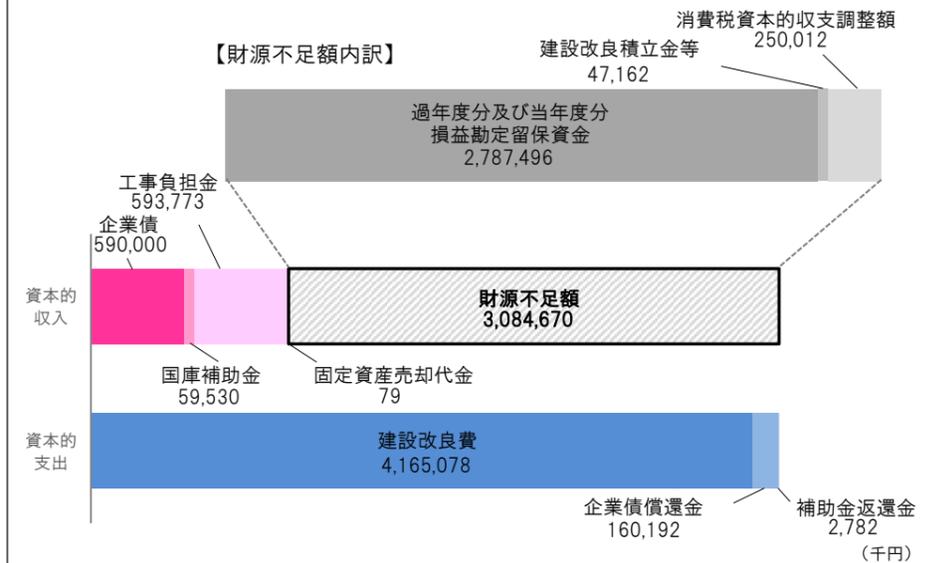
◎管路耐震適合率(対前年度見込増減)
全管路 … 36.9% (1.1ポイント増)
基幹管路 … 75.6% (0.4ポイント増)



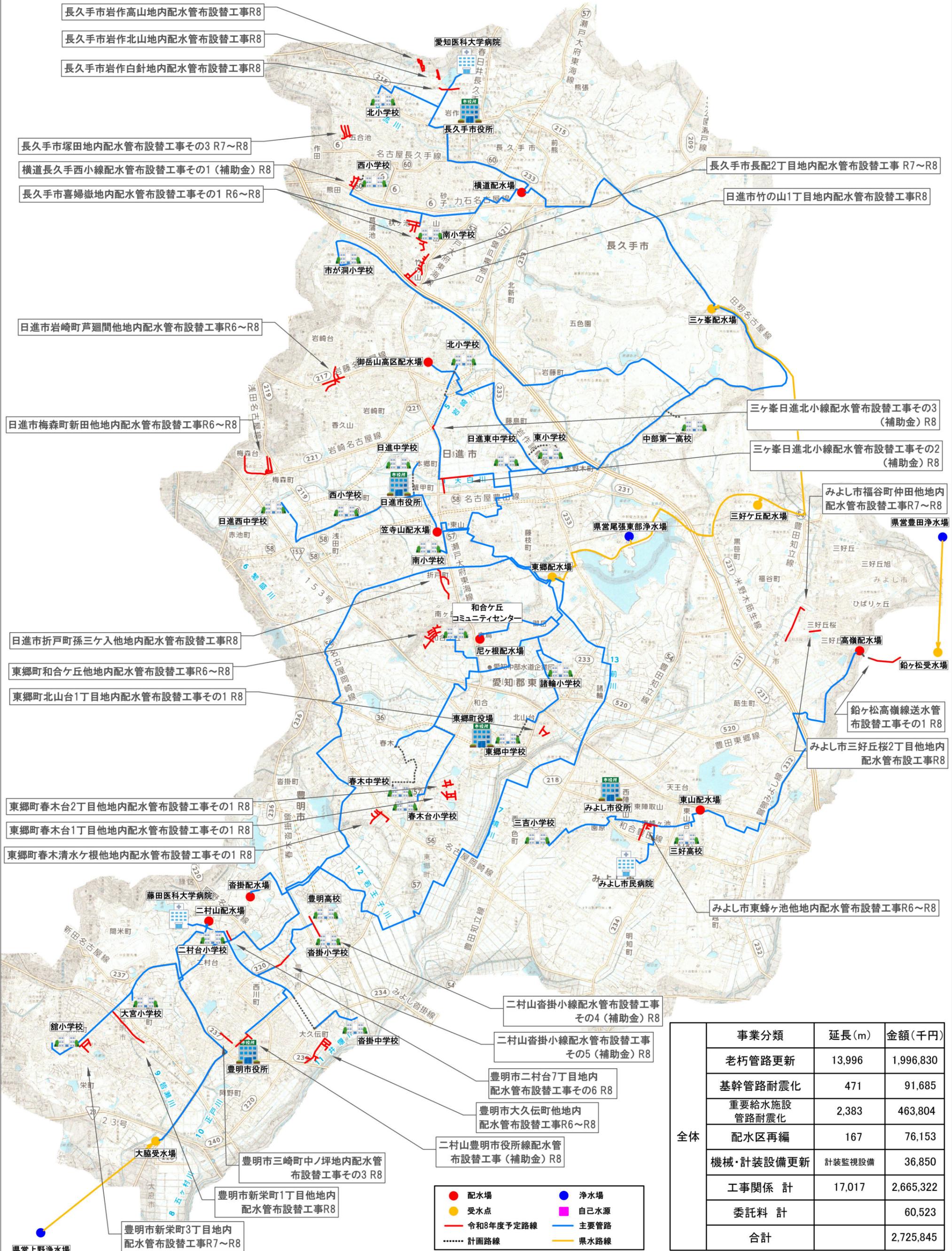
《資本的収支 財源不足額》

①資本的収入額1,243,382千円に対して、資本的支出額は4,328,052千円となり、3,084,670千円の財源不足額が発生します。

②財源不足額については、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金と前年度以前の純利益を利益処分し、積み立てられた建設改良積立金等で補てんします。



令和8年度当初予算 第2次水道施設整備計画《位置図》



事業分類	延長(m)	金額(千円)
老朽管路更新	13,996	1,996,830
基幹管路耐震化	471	91,685
重要給水施設 管路耐震化	2,383	463,804
配水区再編	167	76,153
機械・計装設備更新	計装監視設備	36,850
工事関係計	17,017	2,665,322
委託料計		60,523
合計		2,725,845